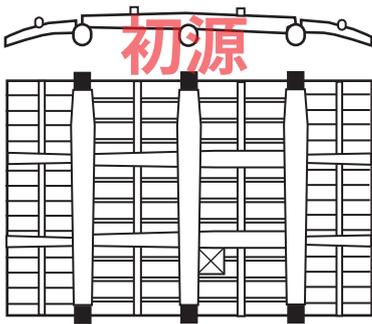
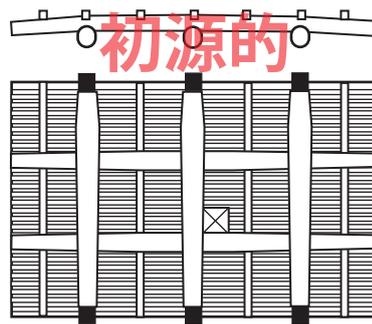


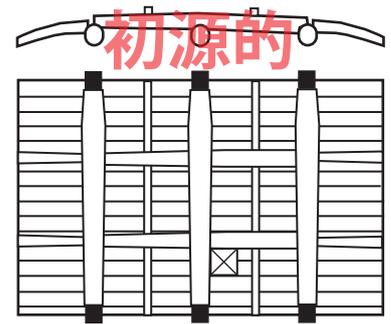
・・・才工の機能的役割変化と製材技術の変化からみた架構形式



早瀬家 M00



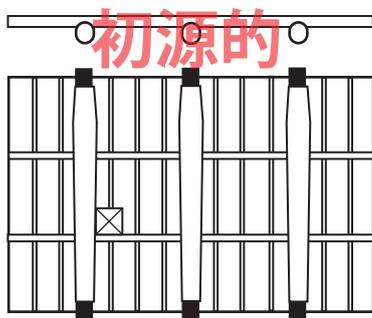
村本武家 T10



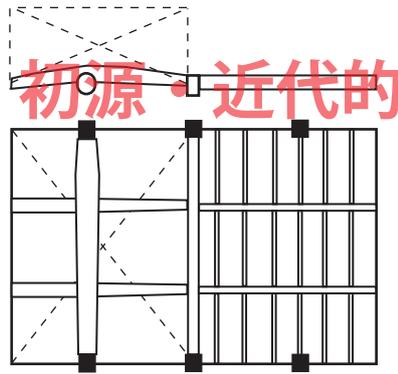
杉田家 S02

座敷

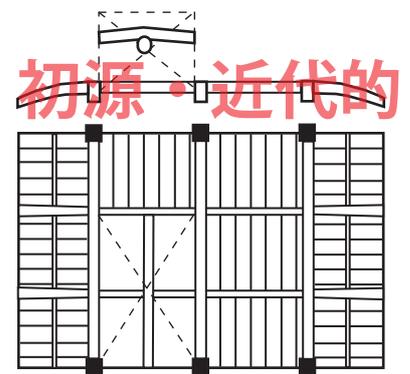
ニワ



橋本家 S17



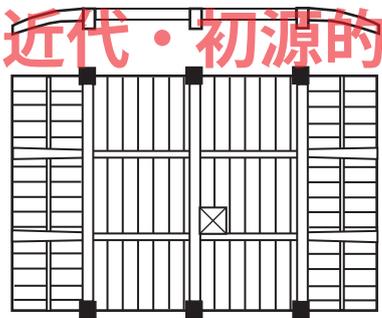
吉田助家 S12 (M44)



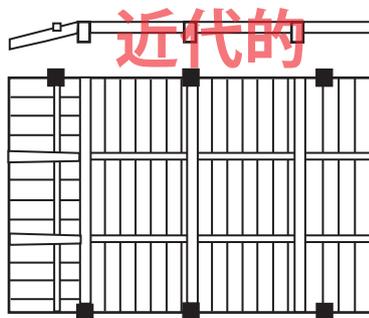
源家 T10 (M29)

座敷

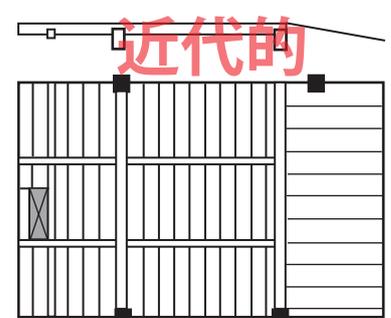
ニワ



山本勝家 S29



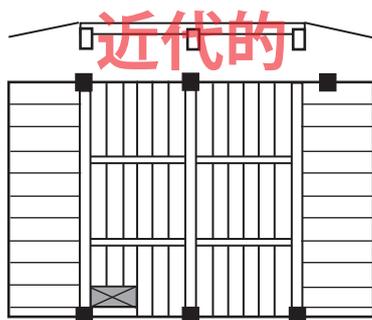
上田家 S30



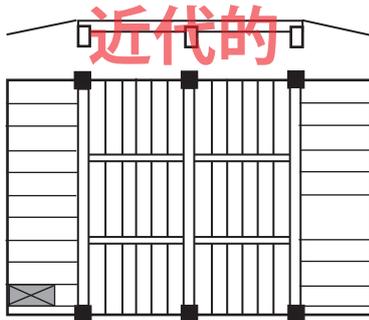
中林家 S28

座敷

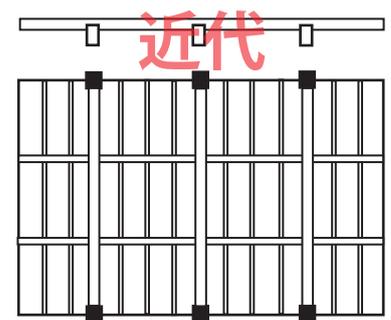
ニワ



東方家 S03



北川一家 S17



中田界家 S08

座敷

ニワ

1) 早瀬家は茅葺き民家で加賀I型の間取りを成すことから初源空間と位置づけることで、架構技術の近代化に伴って、才工空間の志向性によって変化がみられる。なかには初源的志向と近代的志向の混成、混合の構成がみられる